



みなみの風

坂下南小学校
学校だより
NO. 5
R6. 4. 23
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム & チャレンジ！ ～あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん～

あなたがいてくれて よかった
～心の銀行にやさしさの貯金～
10秒の愛 キャンペーン

子どもって、忙しいときに限って、
寄ってきます。

子どもって、なかなか さっさと
できません。

子どもって、なかなか はっきりと
言えません。

でも、たった10秒でいいのです。
まず子どもを抱きしめてあげて
ください。

たった10秒でいいのです。
「早く！」って言う前に待ってあげ
てください。

たった10秒でいいのです。
せかさずに、じっと聞いてあげて
ください。するとそこに「笑顔」が
生まれます。

そこに「つながり」が生まれます。
たかが10秒、されど10秒、
「10秒の愛」は子どもを幸せに
するのです。

(兵庫県西宮市教育委員会
人権教育資料より 仲島正教 著)

大切な我が子と向き合い、子どもの心が安定する
ような関係づくりをしていくために、私たち大人が
できることは・・・

慌ただしい日々の中で、ゆったりとした気持ちを
もつことの大切さをつい忘れがちですね。

そこで、「10秒の愛」キャンペーンを坂下南小
学校の取組としてみんなで実践していきましょう。

10秒間、しっかり我が子を抱きしめてあげてく
ださい。10秒間、話をしっかり聞いてあげてくだ
さい、我が子を見つめ、「やさしさ」という貯金を
増やすために。

ほんのちょっとした時間、愛のシャワーを子ども
に降り注いであげてください。お父さん、お母さん
の10秒で子どもは温かい気持ちで満たされます。

10秒の愛 のねらい

あなたのことを大切に思っている。
あなたのことを心配している。
あなたには、良いところがたくさんある。
よくできたね。自信を持っていいんだよ。
あなたを応援しているよ。あなたの味方だよ。

10秒だけでも

- しっかりと抱きしめ
てあげる。
- 「早く！」って言う
前に待ってあげる。
- 「せかさずに」じっ
くり聞いてあげる。
- 10秒冷静になれば
伝える言葉が優しく
なります。

このようなサイン
を送ることで・・・

自尊感情

子どもたちに、あなたは大切な人間
で、家族はもちろん、まわりの人にと
って必要な人間なんだということを
しっかりと実感させたい。

自己肯定感

すると・・・

10秒の愛から生まれる心あったかい
やさしさの貯金で子どもの心が満たされます。



学校で学ぶ意味って何だろう…①

子ども一人一人にタブレット端末が配付され、家庭でもオンライン授業に参加できるようになりました。

また、学習塾やインターネットを活用した学びなど学び方も多様化してきました。

そのような中、「それでも学校で学ぶ意味は何か」について、近頃考えます。

タブレットを活用して個別に学習する6年生



助け合い、支え合う気持ちと態度を育てる

下の写真は6年生の理科の授業の様子です。実験の準備を分担し、仲間と協力して行っていました。何気ない活動ですが、このような活動を通して、助け合い、支え合うことの大切さを子どもたちは学んでいます。



授業中も、そのほかの活動中でも、子どもたちが困ったら、すぐ友達に「助けて」と言いやすい雰囲気があることが大事だと考えています。誰かが困っていたら、「助ける」こともできる。授業の内容によって、その関係性は自在に入れ替わります。「分からない」「助けて」と言えることの大切さを知り、教えるときにはどうしたら相手に伝わるのかを試行錯誤します。子どもたちも教師も、支え、支えられながらお互いが成長していきます。

みんな初めて ~子育てはうまくいなくて当たり前~

中学生の息子を持つ父親Sさんの話です。何かにつけて扱いづらい年頃の中学生Sさんの息子も多分に漏れず親や教師に反抗し通して、Sさん、ほとんど手を焼いて自分の子育てにすっかり自信を無くしていたのだそうです。

ある夜、Sさんは息子をこっぴどく叱りました。どうして親の気持ちを分かってくれないのか…情けなさともどかしさのあまり、Sさんはついに息子に手をあげてしまいました。

すると、息子は猛然と抗議に出ました。父親の体罰をなじり、普段の口うるささに自分がいかに苦しめられているかを訴えて、こんなふうに言ったのです。

「文句ばっか言うなよ！ 俺、生まれて初めて中学生やってんだぞ！」

Sさん、ぼう然としたそうです。屁理屈にもほどがあるではないか…。

ところが次の瞬間、売り言葉に買い言葉で、Sさんは思わず怒鳴り返しました。

「うるさい！ お父さんだって、中学生のお前を育てるのは生まれて初めてなんだ！」

息子もきょとんとした顔になりました。お互いに言葉が途切れました。ぽかんと抜けたような沈黙がしばらく続き、そして二人はどちらからともなく笑い出しました。

親も子どもも、共に生まれて初めての日々を生きています。

いや、人生そのものが「生まれて初めて」の連続ではないでしょうか。

そう考えると、肩の力が抜けてきませんか？

